

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成24年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成元年度～	根拠法令・例規等	備前市補助金等交付規則
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり	問 合 先 職・氏名 係長 杉田和也 電話 64-1841 このシート作成に要した時間 1.0 時間
	中項目	基本施策	02	生きがいのあるまちづくり	
	小項目	施策	02	青少年教育	
事務事業名		02	青少年活動支援事業		

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	備前市在住・在勤で35歳以下の青少年及び団体の指導者	
目的 (何のために)	青年協議会及びFOS少年団に補助金を交付し、その活動を支援することにより、ボランティア活動や市の行う事業への協力など、地域社会への寄与を目的とする。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	少年期の貴重なボランティア体験を行えるFOS少年団の活動継続と、青少年が自主活動を行う青年協議会の活動継続により、地域社会への積極的参画・参加による地域の活性化を図る。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	市内における青年の資質向上を図るとともに、地域社会の発展に寄与することを目的として各種事業を行う備前市連合青年協議会に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。		
	備前市青年協議会補助事業			
	備前市FOS少年団補助事業	市内の青少年が野外交歓大会や奉仕活動等を通じて、「友情・秩序・奉仕」の精神を養うとともに、心豊かでたくましい子どもの育成を図ることを目的とした各種事業を行う備前市内のFOS少年団に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。		

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	直接事業費	千円	515	443	443	
	必要人員	人	0.34人	0.33人	0.14人	
	必要人員費	千円	2,687	2,675	1,191	
	事業費計		3,202	3,118	1,634	
	国・県支出金					
	受益者負担					
	繰入金					
	市債					
	その他()					
一般財源		3,202	3,118	1,634		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績		
FOS団員数	説明	FOS団員数				
結果指標量		129	106	107		
対前年比	%	-	82.2%	100.9%		
活動コスト	円	2,898,000	2,950,000	1,514,000		
単位当たりコスト		22,465	27,830	14,150		

事業の成果		年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
FOS団員数	成果指標名	目標値(A)	150	140	130	130
		実績値(B)	129	106	107	到達目標値
		達成率(B/A)	86.00%	75.71%	82.31%	130
成果指標設定の考え方・式や説明						
日生・吉永FOS団員数。少子化の影響もあり減少傾向が続いているが、会員数の維持に努めたい。						

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	効率性の評価	コスト	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
有効性の評価	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	市民参画度		

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	少子化の影響もあり、徐々に会員の減少傾向が続いているが、心豊かでたくましい子どもの育成のために必要な団体・活動であり、引き続き支援が必要である。						

総合評価		総合評価
FOS少年団は、上部団体である備前地区FOS少年団連盟および岡山県FOS少年団連盟でも団員数、リーダー数の減少傾向が続いており、指導者養成と活動の充実、積極的な広報活動を図っている。少年期における体験活動やボランティア参加など、子どもたちの育成に対する貢献度は高いものがあり、引き続き支援が必要な団体である。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	心豊かでたくましい子どもたちを育成するため、FOS少年団の活動について、指導者養成や広報活動などを地域公民館の支援により進めていく。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標
である成果やその有効性を評価
するに留意し目標